

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 26 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」草加校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1 時間当たり 3 枠+保護者待機席を確保している。	
	②	職員の配置数は適切である		○		利用者が 10 名を超える場合があるので、あと 1 人の配置が必須。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		支援環境において、子どもたちが集中できる環境設定がされている。	トイレ前段差がバリアとなる可能性がある。声掛けで対応を進めている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○		毎日の清掃を徹底し、環境整備に努める。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		会社の目標値を伝え、それに向けた対応を進めている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に 1 回実施し、業務改善に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	年に 1 回実施し、ホームページ上に公開している。	保護者の意見や自己評価を踏まえて、さらなる業務改善を図っていく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的に県庁から監査を受けて、業務改善を行っている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		初任者研修や他校舎見学などを実施している。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		面談でニーズを詳しく伺い、それをもとに個別支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所共通のアセスメントシートがある。	

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画・支援プログラムに反映している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画が随時確認できるようにしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		週に1回ミーティングを実施し、プログラムの見直しをしている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		内容や負担のバランスを見て見直しをしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		サービス提供が原則個別のみである。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		役割分担を毎週確認している。変更があった際には周知を徹底している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気になったことを書面で記録し、可視化している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎支援の記録をとり、次の支援に反映している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に1回以上モニタリングを行い、支援計画を変更している。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		原則として支援に携わる指導員が参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			機会を見つけて、関係機関との連携を図るようにする。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			（該当なし）	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			（該当なし）	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者ご要望に応じて、幼稚園等との連携を図っている。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		ご要望に応じて、学校との連携を図ることが出来るよう、記録をまとめて用意する。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所や支援センター、相談支援事業所との連携を図っている。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	児童の集団活動は原則実施していない。	

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		草加市通所事業所連絡協議会に参加している。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援ごとにフィードバックの時間を設けている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		ご要望に応じて実施できるように準備をする。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に説明を実施している。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約や更新の際に説明を行っている。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		フィードバックやモニタリングの際に伺っている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		ご要望に応じて保護者会等が開催できるように準備をする。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情解決体制を整備し、契約の際に説明をしている。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		ブログを公開し、情報を発信できるようにする。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		情報は鍵付きのロッカーに保管している。	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童一人一人に合わせた対応を進めている。	

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		○		要望・必要に応じて地域向けの企画を行い、周知できるようにする。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルをファイリングするとともに、月に1回の避難訓練を行っている。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回の避難訓練を実施している。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		基本情報シートに記入し、確認している。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食品の扱いがない。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例をファイリングし、再発防止に努めている。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年1回以上の虐待防止研修を行っている。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束マニュアルをファイリングしている。	どのような場合に身体拘束を行うかの説明を、契約の際などに実施する。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 1月 26日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」草加校 保護者等数（児童数）：15 回収数：11 割合：73%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1			・区切りがあって、落ち着いて活動できる。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11				・専門的なことが聞けてありがたい。 ・話好きな子どもと向き合ってくれて助かっている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	2			・子どもにとって分かりやすいようで、何をするとどこか身に付きつつある。 ・格子状のものが好きなので、それらが目につかないような工夫があると、集中が途切れにくくて良い。	・支援中に集中がしやすくなるよう、子どもに合わせた環境整備を進める。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	2			・室内のにおいが気になる。 ・子どもの声が大きいので、他の子に迷惑が掛かってないか心配。 ・清潔感があり、子どもも安心して過ごしている。	・毎日の清掃を徹底する。 ・無香性の消臭剤でにおい対策をとる。

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・目指す課題をともに作成されている。 ・無理をせず子どもに併せてもらっている。 	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・よく分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時やフィードバックの際に説明する機会を設けることで、周知を図る。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・苦手なところをうまくできるように支援されている。 	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	3			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに合わせて、一歩上のものでも良い。 ・子どもの様子を見ながら支援していて助かっている。 ・毎回やっているプリントもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にミーティングを行い、支援プログラムを再検討する機会を設ける。また、繰り返すことになる場合は、その理由も併せて保護者に説明をする。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞いたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則事業所内での活動になるため、機会がないことを周知する。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく説明を受けた。 	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10			1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	4	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・家でやるといいことを教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックの際に、ご要望に応じて伝えられるようにする。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援後のフィードバックで助言をもらっている。

							・変化・効果を感じたときに伝えたり、教えてもらったりしている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2			・就学時健診のことや進学のことを相談した。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	6	3	・参加したことがない。	・ご要望に応じてママ友会などのイベントの企画を行えるようにする。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	3		2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	2			・フィードバックの時間に家での普段の様子が伝えられている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4		3	4	・行事は連絡がある。会報・HPは見えていない。・HPが更新されたかの連絡がない。・時折イベントのお知らせをもらっている。	・ホームページ、ブログの更新頻度を上げるとともに、連絡等で周知してもらえるようにする。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10	1			・よく分からない。	・契約時に「個人情報に関する同意書」を使い、個人情報の扱い方の説明をする。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	3		3	・発生を想定した訓練を行っているのかよく分からない。	・避難訓練等の日程を周知するとともに、実施の様子をブログに載せるなどして、周知する。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	2		6	・よく分からない。・避難場所の説明は受けている	・避難訓練の様子をブログ等で周知する。

							が、訓練をしているかが分からない。	
満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	7	4			<ul style="list-style-type: none"> ・行くまでなかなか動けないことがある。 ・通所を嫌がる様子がなく、逆に帰りたがらないこともある。 ・好きなおもちゃはないようで、毎回持参している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者のお話をよく聞き、要望に合わせた支援を展開するとともに、楽しく通ってもらえるようなプログラムを考えていく。
	③	事業所の支援に満足しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな工夫をしてもらっている。 ・静かな環境で、集中して取り組んでいる。 	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。